

E ガラスマイクロファイバー

安全データシート

JIS Z 7253 : 2012 に従い
発行日: 2016/06/07 改訂日: 2016/06/07 バージョン: 2.2

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 : E ガラスマイクロファイバー
化学品の名称 : ガラス、酸化物、化学物質
CAS 番号 : 65997-17-3

会社情報

仕入先

Lauscha Fiber International GmbH
98724 Lauscha
Dammweg 35
T 036702 / 287-0 - F 036702 28728
lauscha.info@unifrax.com

SDS の責任資格者の電子メールアドレス

sds@kft.de

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : '+81 (0)72 727 2499

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性 発がん性 区分 1B

絵表示 (GHS-JP)



GHS08

注意喚起語 (GHS-JP) : 危険。

危険有害性情報 (GHS-JP) : 発がんのおそれ (吸入) (H350)。

安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。 (P201)。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 (P202)。
保護面を着用すること。 (P280)。

応急措置 : ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
(P308+P313)。

保管 : 施錠して保管すること。 (P405)。

廃棄 : 内容物/容器を 有害または特別廃棄物処理施設 に廃棄すること。
(P501)。

3. 組成及び成分情報

製品情報 : 物質。

名前	濃度	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ガラス、酸化物、化学物質	100				65997-17-3

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移す。
気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で優しく洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚への刺激が続く場合は医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
水を大量に飲ませる。
無理に吐かせないこと。
直ちに医師の診察を受ける。

その他の医学的アドバイスまたは治療

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適した消火剤 : 製品は引火性ではない。周辺火災を消火する際は適切な消火薬剤を使用する。泡消火剤。乾燥粉末消火剤。二酸化炭素。水噴霧。
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 消火方法 : 消火に使用した水が環境中に流出しないようにする。
- 消火時の保護具 : 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
。完全防護服。
自給式呼吸器。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的な措置 : 皮膚、眼との接触を避ける。

非緊急対応者

- 保護具 : 使用する個人用保護具については第 8 項を参照する。

- 応急処置 : 未許可の職員の立ち入り禁止。

緊急対応者

- 保護具 : 十分な換気を確保する。
使用する個人用保護具については第 8 項を参照する。

- 応急処置 : 作業員は暴露を最小限に抑える訓練がされていることを確認する。

- 環境に対する注意事項 : 環境のための特別の注意は、一切必要ではない。

環境に対する注意事項

- 一般的な措置 : 皮膚、眼との接触を避ける。

封じ込め及び浄化方法及び機材

- 浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
粉塵の生成を最小限に減らす。
高効率粒子空気フィルタ (HEPA フィルタ)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
作業所の十分な換気を確保する。
皮膚、眼との接触を避ける。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染エリアは徹底的に洗浄する。
- 衛生対策 : 飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染エリアをマイルドソープと水で洗浄する。

保管

- 安全な保管条件 : 製品は必ず元の容器に保管する。
密封容器に入れ、乾燥した冷暗所に保管する。
施錠して保管すること。
- 混合接触保管の禁止 : 動物用のものも含めて、食べ物や飲み物から離れた所に保存する。

8. ばく露防止及び保護措置

(65997-17-3)		
日本	許容濃度(産衛学会)	0.01mg/m ³ (Agとして);0.05mg/m ³ (Cdとして);0.05mg/m ³ (Coとして);0.5mg/m ³ (Crとして);0.2mg/m ³ (Mnとして、有機マンガンを除く);0.1mg/m ³ (Pbとして、アルキル鉛化合物を除く);0.1mg/m ³ (Sbとして、スチビンを除く);0.1mg/m ³ (Seとして、セレン化水素、六フッ素化セレンを除く)
日本	許容濃度(ACGIH)	TWA 0.01 mg/m ³ , 0.002 mg/m ³ (R), STEL - (as Cd);TWA 0.01 mg/m ³ , STEL - (as As);TWA 0.02 mg/m ³ (R), 0.1 mg/m ³ (I), STEL - (as Mn);TWA 0.05 mg/m ³ , STEL - (as Pb);TWA 0.1 mg/m ³ , STEL - (as Te, excluding hydrogen telluride);TWA 0.2 mg/m ³ , STEL - (as Se);TWA 0.5 mg/m ³ , STEL - (as Sb);TWA 5 mg/m ³ , STEL 10 mg/m ³ (as W Metal and insoluble compounds)

- 手の保護具 : 革製の保護手袋。
- 眼の保護具 : サイドシールド付き安全メガネ。
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の衣類。作業衣を自宅に持ち帰らない。
- 呼吸用保護具 : 粉塵が発生した場合 : 適切なマスクを着用する。(FFP3)。



- その他の情報 : 使用中は飲食禁止かつ禁煙。作業衣を自宅に持ち帰らない。作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态 : 固体。
- 外観 : 繊維。

色	: 製品仕様による。
臭い	: 無臭。
pH	: 非該当
融点	: 700 - 800 ° C
沸点	: 非該当
引火点	: 非該当
2.5 - 2.6 g/cm ³	: 2.5 - 2.6 g/cm ³
水	: 不溶性
動的粘度:	: 非該当
動粘性率:	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件下では安定。
化学的安定性	: 製品は通常の条件下での取扱いおよび保管において安定である。
危険有害反応可能性	: 危険な反応は一切見られない。
避けるべき条件	: 情報なし。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

その他の情報	: E ガラスマイクロファイバーは試験管内 pH7.4 の肺液では比較的緩徐に分解される。酸性肺液においては、マクロファージにより繊維構造は脆弱となり、また長い繊維は短く分解される。リンパ系に“移動”するマクロファージによる遊走もしくは摂取により、短い繊維は異化される。飲み込まれた場合は、胃の酸性環境において分解され、排出される。
急性毒性（経口）	: 未分類。 この繊維は生体膜を通過する可能性があり、消化管から吸収される可能性もある。
急性毒性（経皮）	: 未分類。
急性毒性（吸入）	: 未分類。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 刺激性の影響はない。ウサギ。(OECD 404 法)pH: 非該当。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 未分類。 (利用可能なデータは分類基準を満たしていない)
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: 未分類。 (利用可能なデータは分類基準を満たしていない)
生殖細胞変異原性	: 未分類。 (利用可能なデータは分類基準を満たしていない)
発がん性	: 高濃度長期吸入試験において、E ガラスマイクロファイバーが肺腫瘍（カルシノーマ及びアデノーマ）を誘発することが示されており、これは 20µm を超える長い繊維による高い生体内持続性に起因するものと考えられている。E ガラスマイクロファイバーが肺腫瘍を誘発するメカニズムは完全には明らかにされていないが、細胞クリアランスメカニズムの過負荷によるものと考えら。
生殖毒性	: 未分類。 (利用可能なデータは分類基準を満たしていない)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 未分類。 (利用可能なデータは分類基準を満たしていない)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 未分類。 (利用可能なデータは分類基準を満たしていない)
吸引性呼吸器有害性	: 未分類。 (該当しない)

12. 環境影響情報

- 生態系 – 全般 : 本物質は水性生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
- 水生環境 (急性) : 未分類。
- 水生環境慢性 : 未分類。

(65997-17-3)	
LC50 魚 1	> 1000 mg/l (96h; Dario rerio; OECD 203)
EC50 ミジンコ 1	> 1000 mg/l (48h; Daphnia Magne; OECD 202)
EC50 72h 藻類 1	> 1000 mg/l (Pseudokirchnelle subcapitata; OECD 201)

(65997-17-3)	
残留性・分解性	生分解性ではない。

(65997-17-3)	
生体蓄積性	生物蓄積性の可能性はほとんどなし。

(65997-17-3)	
土壌中の移動性	情報なし

- オゾン層への有害性 : 未分類。
- その他の有害な影響 : 情報なし。

13. 廃棄上の注意

- 推奨廃棄方法 : 国、地域の規制に準拠して廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

道路輸送 (ADR)	道路輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)	内陸水路輸送 (ADN)	鉄道輸送 (RID)
国連番号					
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
品名					
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
危険物輸送分類					
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
容器等級					
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
環境有害性					
環境有害性 : いろいろ	環境有害性 : いろいろ	環境有害性 : いろいろ 海洋汚染物質 : いろいろ	環境有害性 : いろいろ	環境有害性 : いろいろ	環境有害性 : いろいろ

- 海洋汚染物質 : いろいろ

国内規制

- その他の情報 : 規制されていない。

15. 適用法令

化審法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学兵器禁止法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 非該当
オゾン層保護法	: 非該当
麻薬及び向精神薬取締法	: 非該当
覚せい剤取締法	: 非該当
悪臭防止法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当
外国為替及び外国貿易法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当。
航空法	: 非該当。
港則法	: 非該当。
道路法	: 非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 非該当
特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)	: 非該当
火薬類取締法	: 非該当
高圧ガス保安法	: 非該当
水道法	: 非該当
下水道法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法 (P R T R 法)	: 非該当
ダイオキシン類対策法	: 非該当
労働基準法	: 非該当
農薬取締法	: 非該当
じん肺法	: 非該当
土壌汚染対策法	: 非該当
建築基準法	: 非該当

16. その他の情報

安全データシート発行部門:	: KFT Chemieservice GmbH Im Leuschnerpark. 3 64347 Griesheim Postfach 1451 64345 Griesheim Germany Phone: +49 6155-8981-400 Fax: +49 6155 8981-500 Safety Data Sheet Service: +49 6155 8981-522
連絡窓口	: Dr. Daniela Krimm